

「まちの将来像」の検討案について

<考え方>

土岐市は、平成18年度を初年度とし平成27年度を目標年次とする「第五次土岐市総合計画」において、「緑・美濃焼・みんなの笑顔 未来を拓く快適・交流都市」を将来像に掲げ、その実現に向けてまちづくりを進め、一定の成果をあげてきました。

しかし、人口減少や少子高齢化、地域主権型社会の進展、防災やエネルギー問題への意識の高まり、市民ニーズの多様化など、自治体を取り巻く情勢は大きく変化しています。本市の人口は減少しており、今後も少子高齢化が一層進むことで、社会、経済、地域などさまざまな場面でより深刻な問題が生じてくることも予測されます。また、市民一人ひとりの価値観やライフスタイルの多様化も進み、安全・安心や健康志向の高まりにみられるように、心の豊かさや暮らしのゆとりを望む方向性が一層鮮明になってきています。

そうした中で、土岐市にある魅力を活かし、快適な生活と安心した子育てができ、高齢者が安心して生活できる環境を実現することで、市民一人ひとりが土岐市民であることに誇りを持ち、幸せな暮らしを実感できるとともに、市民と行政の協働により、土岐市が魅力あるまちとして成長し続けていくことができるまちづくりを目指し、まちの将来像を「……」と定めます。

●土岐市の魅力・土岐市民の誇り

【自然環境】	自然、緑、里、山、空気がきれい
【美濃焼・産業文化】	美濃焼、陶磁器、やきもの
【暮らしやすさ】	豊かさ、笑顔、暮らしやすい、静か、便利、安全・安心、平和

●まちづくり動向（快適な生活の確保、子育てや高齢者の安心確保、しあわせの実感など）

キーワード

健康・いきがい、幸せ・幸福感、きずな、つながり、活力・創生、協働・共生、自立、自助・共助 など

【案A】 みんながつながり みんなでつくる ぬくもりのまち

- ◎土岐市に住み、土岐市で働き、土岐市で学ぶ私たち、土岐市を訪れるすべての人々の連携・協働によって
- ◎“人”のぬくもり、“自然”のぬくもり、“土”のぬくもりを感じることができる魅力あるまちを、みんなでつくっていく

【案B】 人と自然と土が織りなす ぬくもりのまち

- ◎一本の糸で織りあげる一枚の布のように、人、自然、土が糸のように交わり合い一つのまちをつくり上げていく
- ◎“人”のぬくもり、“自然”のぬくもり、“土”のぬくもりを感じることができる魅力あるまちを、みんなでつくっていく

【案C】 しあわせと豊かな暮らしをはぐくむ 交流文化都市・土岐

- ◎暮らしやすいまち、みんなが「幸せ」を実感できる豊かなまちをつくる
- ◎土岐市の特徴である「広域交通の結節点に位置する魅力（立地、交流大地）」や、美濃焼をはじめとする文化・伝統を最大限に活かした魅力あるまちをつくる

【案D】 みんなで創る ときめく未来への“とき”

- ◎土岐市に住み、土岐市で働き、土岐市で学ぶ私たち、土岐市を訪れるすべての人々の連携・協働によって
- ◎“とき”（時間と土岐）を共有しながら、心躍る希望に満ちた将来を共に創り上げていく

【案E】